

英語英文学科専門科目（平成26年度入学生用）

	科目 コード	授業 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職 資格	概要	開放	
英語共通基礎科目（英語コミュニケーション）			基礎英語表現Ⅰ 〃 〃 〃	②	30	1	前期	北山 長貴 阿部 隆夫 横山 利夫 小林 亜希	教職資格欄	(英会話と作文) プレイスメント・テストによりクラス分け		
			基礎英語表現Ⅱ 〃 〃 〃	②	30	1	後期	阿部 隆夫 横山 利夫 松井 真人 宇津まり子				
	20030	20031	発展英語表現Ⅰ	2	30	2	前期	マニ・タワ ^o アコリ				
	20030	20032	〃									
	20030	20033	〃									
	20040	20041	発展英語表現Ⅱ	2	30	2	後期	マニ・タワ ^o アコリ				
	20040	20042	〃									
			英会話Ⅰ（火曜Ⅰ限） 〃（火曜Ⅳ限） 〃（木曜Ⅴ限）	②	30	1	前期	マニ・タワ ^o アコリ			3クラス	
			英会話Ⅱ（月曜Ⅲ限） 〃（火曜Ⅳ限） 〃（木曜Ⅳ限）	②	30	1	後期	マニ・タワ ^o アコリ			3クラス	
	20210		リーディングⅠ	2	30	1・2	前期	渡邊真由美				
	20220		リーディングⅡ	2	30	1・2	前期	太田 裕子				
	20230		リーディングⅢ	2	30	1・2	後期	金子 淳				
	20240		リーディングⅣ	2	30	1・2	後期	松井 真人				
	20320		ライティングⅠ ライティングⅡ	2 2	30 30	1 2	前期 後期	米野 裕子 米野 裕子				
	20420		リスニングⅠ リスニングⅡ	2 2	30 30	1 2	前期 後期	北山 長貴 横山 利夫				
20460		TOEFLリスニング TOEICリスニング	2 2	30 30	1 2	後期 前期	阿部 隆夫 松井 真人					
20510		英文法Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人					
20520		英文法Ⅱ	2	30	1・2	後期	阿部 隆夫					
20610		時事英語 検定英語講座	2 2	30 30	1・2 1	前期 前期	渡邊真由美 阿部 隆夫			外国 外国		
英米文学科目	20710		イギリス文学史	2	30	1・2	後期	小林 亜希	②	9月開講	教養 教養 教養 外国	
	20720		アメリカ文学史	2	30	1・2	前期	渡邊真由美				
	20730		イギリス文学作品研究	2	30	1・2	前期	小林 亜希				
	20740		アメリカ文学作品研究	2	30	1・2	後期	渡邊真由美				
	20750		英米児童文学作品研究	2	30	1・2	集中	井辻 朱美				
	20760		英米文学講読	2	30	1・2	後期	小林 亜希				
			英米文学基礎演習Ⅰ 英米文学基礎演習Ⅱ	2 2	30 30	1 1	後期 後期	小林 亜希 宇津まり子				
20910		英米文学演習Ⅰ	4	60	2	通年	小林 亜希					
20920		英米文学演習Ⅱ	4	60	2	通年	渡邊真由美					
英語学科目			英語学基礎演習Ⅰ 英語学基礎演習Ⅱ 英語学基礎演習Ⅲ 英語学基礎演習Ⅳ	2 2 2 2	30 30 30 30	1 1 1 1	後期 後期 後期 後期	横山 利夫 松井 真人 北山 長貴 阿部 隆夫	②	A:「英米文学基礎演習」または「英語学基礎演習」から必ず1つ選択して履修（1年後期） B:「英米文学演習」または「英語学演習」から必ず1つ選択して履修（2年通年）		
	21110		英語学演習Ⅰ	4	60	2	通年	横山 利夫				
	21120		英語学演習Ⅱ	4	60	2	通年	松井 真人				
	21130		英語学演習Ⅲ	4	60	2	通年	北山 長貴				
	21140		英語学演習Ⅳ	4	60	2	通年	阿部 隆夫				
	21210		英語学入門Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人			教養	
	21220		英語学入門Ⅱ	2	30	1・2	後期	横山 利夫			教養	
	21230		英語学入門Ⅲ	2	30	1・2	後期	北山 長貴			教養	
21240		英語学講読	2	30	2	前期	北山 長貴					
言語と文化科目	21330		西洋史	2	30	1・2	前期	浅野 啓子	②	本年度開講せず	教養 教養 教養 教養	
	21340		日本文化論	2	30	1・2	後期	阿部 哲人				
	21320		英米文化論	2	30	1・2	前期	小林 亜希				
			異文化理解Ⅰ	2	30	1	後期	阿部 隆夫				
	21360		異文化理解Ⅱ	2	30	1・2	前期	マニ・タワ ^o アコリ				
	21370		異文化コミュニケーション	2	30	1・2	前期	阿部 隆夫				
21410		卒業研究	4		2							

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職資格欄の科目を履修することで条件を満たす

英語英文学科専門科目（平成27年度入学生用）

	科目 コード	授業 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職 資格	概要	開放	
英語共通基礎科目 (英語コミュニケーション)	20010	20011	基礎英語表現Ⅰ	②	30	1	前期	北山 長貴 阿部 隆夫 横山 利夫 小林 亜希		(英会話と作文) プレイスメン ト・テストによ りクラス分け		
	20010	20012	〃									
	20010	20013	〃									
	20010	20014	〃									
	20020	20021	基礎英語表現Ⅱ	②	30	1	後期	阿部 隆夫 横山 利夫 松井 真人 渡邊真由美				
	20020	20022	〃									
	20020	20023	〃									
	20020	20024	〃									
			発展英語表現Ⅰ	2	30	2	前期	マーニ・タウ ^ア アコリ				
			〃									
			発展英語表現Ⅱ	2	30	2	後期	マーニ・タウ ^ア アコリ				
			〃									
	20110	20111	英会話Ⅰ（火曜Ⅰ限）	②	30	1	前期	マーニ・タウ ^ア アコリ				3クラス
	20110	20112	〃（火曜Ⅳ限）									
	20110	20113	〃（木曜Ⅴ限）									
	20120	20121	英会話Ⅱ（月曜Ⅲ限）	②	30	1	後期	マーニ・タウ ^ア アコリ				3クラス
	20120	20122	〃（火曜Ⅳ限）									
	20120	20123	〃（木曜Ⅳ限）									
	20210		リーディングⅠ	2	30	1・2	前期	渡邊真由美				
	20220		リーディングⅡ									
20230		リーディングⅢ										
20240		リーディングⅣ										
20310		ライティングⅠ	2	30	1	前期	米野 裕子					
		ライティングⅡ										
20410		リスニングⅠ	2	30	1	前期	北山 長貴					
		リスニングⅡ										
20450		TOEFLリスニング	2	30	1	後期	阿部 隆夫					
		TOEICリスニング										
20510		英文法Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人					
20520		英文法Ⅱ										
20610		時事英語	2	30	1・2	前期	渡邊真由美		外国			
英米文学科目	20710		イギリス文学史	2	30	1・2	後期	小林 亜希	②	9月開講	教養 教養 教養	
	20720		アメリカ文学史									
	20730		イギリス文学作品研究									
	20740		アメリカ文学作品研究									
	20750		英米児童文学作品研究									
	20760		英米文学講読									
	20810		英米文学基礎演習Ⅰ	2	A	30	1	後期				小林 亜希
	20820		英米文学基礎演習Ⅱ	2	②	30	1	後期				渡邊真由美
		英米文学演習Ⅰ	4	B	60	2	通年	小林 亜希				
		英米文学演習Ⅱ	4	④	60	2	通年	渡邊真由美				
英語学科目	21010		英語学基礎演習Ⅰ	2	30	1	後期	横山 利夫	②	A:「英米文学基 礎演習」または「 英語学基礎演 習」から必ず1 つ選択して履修 (1年後期) B:「英米文学演 習」または「英語 学演習」から必 ず1つ選択して 履修(2年通 年)	教養 教養 教養	
	21020		英語学基礎演習Ⅱ									
	21030		英語学基礎演習Ⅲ									
	21040		英語学基礎演習Ⅳ									
			英語学演習Ⅰ	4	B	60	2	通年				横山 利夫
			英語学演習Ⅱ	4		60	2	通年				松井 真人
			英語学演習Ⅲ	4		60	2	通年				北山 長貴
			英語学演習Ⅳ	4		60	2	通年				阿部 隆夫
21210		英語学入門Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人					
21220		英語学入門Ⅱ										
21230		英語学入門Ⅲ										
		英語学講読	2	30	2	前期	北山 長貴					
言語と文化科目	21330		西洋史	2	30	1・2	前期	浅野 啓子	②	本年度開講せず	教養 教養 教養 教養 教養	
	21340		日本文化論									
	21320		英米文化論									
	21350		異文化理解Ⅰ									
	21360		異文化理解Ⅱ									
	21370		異文化コミュニケーション									
			卒業研究									4

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職資格欄の科目を履修することで条件を満たす

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
20010	20011	基礎英語表現 I	2	北山 長貴	前期																
<p>【達成目標】 1. 基本的な英文法の復習と英作文の練習。 2. コロケーション（語と語の組み合わせ）や句動詞（動詞と不変化詞の組み合わせ）など英語特有の語法を知ること。</p> <p>【授業内容・方法】 毎回2課進みます。英語表現に必要な基本文法事項の解説と練習問題を各自予習してもらいます。授業で答え合わせをします。また、プリントを使いコロケーション、句動詞、限定詞、機能語、内容語を解説します。練習問題にある英作文を宿題として毎回ノート提出してもらいます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 文の主語</td> <td>2. 注意すべき名詞の用法</td> <td>3. 冠詞の使い方</td> </tr> <tr> <td>4. 誤用の多い代名詞</td> <td>5. 使い方を誤りやすい動詞</td> <td>6. 基本時制の用法</td> </tr> <tr> <td>7. 進行形と完了形</td> <td>8. 法助動詞の意味と用法</td> <td>9. 使役の表現</td> </tr> <tr> <td>10. 受動態を使用する場合の留意点</td> <td>11. 準動詞の用法</td> <td>12. 形容詞の使い方</td> </tr> <tr> <td>13. 注意すべき副詞の用法</td> <td>14. 比較表現</td> <td>15. 否定表現</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 『基礎からはじめる英作文』（成美堂）1900円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 予習を必ずしてきてください。ノートを1冊用意してください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（25%）、英作文の提出（25%）、筆記試験（25%）</p>							1. 文の主語	2. 注意すべき名詞の用法	3. 冠詞の使い方	4. 誤用の多い代名詞	5. 使い方を誤りやすい動詞	6. 基本時制の用法	7. 進行形と完了形	8. 法助動詞の意味と用法	9. 使役の表現	10. 受動態を使用する場合の留意点	11. 準動詞の用法	12. 形容詞の使い方	13. 注意すべき副詞の用法	14. 比較表現	15. 否定表現
1. 文の主語	2. 注意すべき名詞の用法	3. 冠詞の使い方																			
4. 誤用の多い代名詞	5. 使い方を誤りやすい動詞	6. 基本時制の用法																			
7. 進行形と完了形	8. 法助動詞の意味と用法	9. 使役の表現																			
10. 受動態を使用する場合の留意点	11. 準動詞の用法	12. 形容詞の使い方																			
13. 注意すべき副詞の用法	14. 比較表現	15. 否定表現																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
20010	20012	基礎英語表現 I	2	阿部 隆夫	前期																			
<p>【達成目標】 日常に不可欠な英語表現を実生活の場面設定の中で学ぶ。言語習得の最新訓練法と異文化間コミュニケーション事例を学ぶ。</p> <p>【授業内容・方法】 状況を軸にした会話応用練習でコミュニケーション能力を向上させる。各回の初めに文字を使わない外国語指導方法の実践例や、社会言語学に基づいたコミュニケーション事例分析を紹介する。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Food science (speaking),</td> <td>2. Food science (vocabulary),</td> <td>3. Food science (review),</td> </tr> <tr> <td>4. Great lives (speaking),</td> <td>5. Great lives (vocabulary),</td> <td>6. Great lives (review),</td> </tr> <tr> <td>7. Communication (speaking),</td> <td>8. Communication (vocabulary),</td> <td>9. Communication (review),</td> </tr> <tr> <td>10. Significant objects (speaking),</td> <td>11. Significant objects (vocabulary),</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. Significant objects (review),</td> <td>13. Responsible tourism (speaking),</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. Responsible tourism (vocabulary),</td> <td>15. Responsible Tourism (review)</td> <td></td> </tr> </table> <p>他、偶数回に言語習得実践、奇数回に異文化間コミュニケーション事例考察を行なう。</p> <p>【テキスト】 Philpot & Curnick, Headway Academic Skills: Listening, Speaking, and Study Skills (Oxford UP, 2011); タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社, 2011)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 各自の予習時に理解できなかった箇所に関しては日本語で最初に説明を受ける。その上で、平易な英語表現での指導の下、各練習にのぞむ。</p> <p>【評価方法】 日常の練習課題（40%）、口答試験（暗唱 20%、討論 20%、音読 20%）</p>							1. Food science (speaking),	2. Food science (vocabulary),	3. Food science (review),	4. Great lives (speaking),	5. Great lives (vocabulary),	6. Great lives (review),	7. Communication (speaking),	8. Communication (vocabulary),	9. Communication (review),	10. Significant objects (speaking),	11. Significant objects (vocabulary),		12. Significant objects (review),	13. Responsible tourism (speaking),		14. Responsible tourism (vocabulary),	15. Responsible Tourism (review)	
1. Food science (speaking),	2. Food science (vocabulary),	3. Food science (review),																						
4. Great lives (speaking),	5. Great lives (vocabulary),	6. Great lives (review),																						
7. Communication (speaking),	8. Communication (vocabulary),	9. Communication (review),																						
10. Significant objects (speaking),	11. Significant objects (vocabulary),																							
12. Significant objects (review),	13. Responsible tourism (speaking),																							
14. Responsible tourism (vocabulary),	15. Responsible Tourism (review)																							

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20010	20013	基礎英語表現 I	2	横山 利夫	前期	

【達成目標】

- ①「3行英文ライティング」: センテンス・レベルのライティングは独立した単独の日本語の英語ライティングで、パラグラフ・レベルのライティングは内容的にまとまりのある複数の英文によるパラグラフ単位のライティングです。それら複数の英文のひとつひとつが前後の英文とのつながり方において適切でなければなりません。この授業ではパラグラフ・レベルのライティングに対応できるようになるための英語力を身につけることを目標にします。
- ②テキストで使用されている基本的な言い回しを練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目標にする。

【授業内容・方法】

下記の授業計画を参照のこと。前期に2回、山形大学の留学生の方々に授業に参加していただく。

【授業計画】

①について

- 1 授業についてのガイダンス, 2 Weather(進行形), 3 The Four Seasons(未来形), 4 Campus Life (助動詞)
5 Campus Life (2)(受動態), 6 Shopping(比較), 7 Eating Out(不定詞), 8 Music(現在完了), 9 Television and Radio(分詞)
10 Methods of Communication(動名詞), 11 Methods of Transportation(前置詞), 12 Traveling Overseas(間接疑問文)
13 Health and Exercise(接続詞), 14 A Stay in Hawaii(関係代名詞), 15 A Home Stay in Auckland, New Zealand(関係副詞)
などのテーマについて、ライティングの練習をする。毎回、受講者には課題を出す。

②について 毎時間さまざまなトピックで、日常会話の練習を行う。

【テキスト】

Hiroyuki Tomi, Curt Wold 著 Three-line Writing in English 成美堂

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

- ①については予習をしっかりやること。②については積極的に英語で話そう。

【評価方法】

出席(特に重視 30点 2/3以上の出席で、1回欠席5点減点)、授業への積極的な参加(20点)、筆記試験(50点)、受講受理期間も出席を取る。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20010	20014	基礎英語表現 I	2	小林 亜希	前期	

【達成目標】

基本的な英語表現のパターンを学び、英作文と英会話の基礎を習得します。また、平易な英語表現を用いて日常会話ができることを目標とします。

【授業内容・方法】

基本的な文法に留意しながら教科書の例文を読み、重要な表現パターンを英作文に応用する練習をします。また、発音やイントネーションの規則を学び、音読することで、リスニング力とスピーキング力の基礎を涵養します。教科書の例文を利用した瞬間英作文、英会話の練習もする予定です。

【授業計画】

- | | | | |
|----------|---------------------|--------|-------------|
| ①授業ガイダンス | ②文の基本要素と品詞 | ③5文型 | ④時制 |
| ⑤完了形 | ⑥法助動詞 | ⑦to不定詞 | ⑧現在分詞・過去分詞 |
| ⑨関係節 | ⑩that節・whether節・wh節 | | ⑪to不定詞の名詞用法 |
| ⑫動名詞 | ⑬従属接続詞 | ⑭仮定法 | ⑮まとめ |

【テキスト】

中郷慶著『読める英文法・聞ける英音法』(英宝社) 1900円+税

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

- ・できるだけ丁寧に、受講生の英作文を添削したいと思います。
- ・辞書を引き、丁寧に予習してください。適宜課題を出しますので、提出してください。

【評価方法】

授業中の発表・課題(20%)、試験(80%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20021	基礎英語表現Ⅱ	2	阿部 隆夫	後期	
<p>【達成目標】 日常に不可欠な英語表現を実生活の場面設定の中で学ぶ。言語習得の最新訓練法と異文化間コミュニケーション事例を学ぶ</p> <p>【授業内容・方法】 状況を軸にした会話応用練習でコミュニケーション能力を向上させる。各回の初めに文字を使わない外国語指導方法の実践例や、社会言語学に基づいたコミュニケーション事例分析を紹介する。</p> <p>【授業計画】 1. Moving on (speaking), 2. Moving on (vocabulary), 3. Moving on (review), 4. Island states (speaking), 5. Island states (vocabulary), 6. Island states (review), 7. Careers in the media (speaking), 8. Careers in the media (vocabulary), 9. Careers in the media (review), 10. Innovations from nature (speaking), 11. Innovations from nature (vocabulary), 12. Innovations from nature (review), 13 Conversation (speaking), 14 Conversation (vocabulary), 15. Conversation (review) 他、偶数回に言語習得実践練習、奇数回に異文化間コミュニケーション事例考察を行なう。</p> <p>【テキスト】 Philpot & Curnick, Headway Academic Skills: Listening, Speaking, and Study Skills (Oxford UP, 2011); タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社, 2011)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 各自の予習時に理解できなかった箇所に関しては日本語で最初に説明を受ける。その上で、平易な英語表現での指導の下、各練習にのぞむ。</p> <p>【評価方法】 日常の練習課題（40%）、口答試験（暗唱 20%、討論 20%、音読 20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20022	基礎英語表現Ⅱ	2	横山 利夫	後期	
<p>【達成目標】 ライティングについて：多少の誤りを気にせず、まとまった内容の英文を書けるようになること。 スピーキングについて：テキストにある単語を用いて、自分の考えを英語で話せるようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 ①ライティングについて：下記のテキストを使用して、さまざまな読者を想定したライティングの練習を行います。また、さまざまなプロセス（Warm-up, Language Focus, Example Models, Getting Ideas, First Draft, Editing, Reflection）を通じて英語での文章の書き方を学びます。 ②スピーキングについて：ライティングのテーマでスピーキングの練習を行います。また、山形大学の留学生に授業に参加していただき、さまざまなテーマで英会話を行う。</p> <p>【授業計画】 1.オリエンテーション 2.Self description(Informal e-mail) 3.Description of campus life(school booklet) 4.Describing a problem and possible solutions(A)(school web page) 5.Inquiring about an internship(formal e-mail) 6.Writing an entry for a class blog(Movie Review) 7.Review 8 Describing a problem and possible solutions (B)(School web page) 9.Writing about our special skills and giving advice(Student newsletter) 10.Describing your best experience(Personal story) 11.Describing trends over time(Description of a graph or charts) 12.Describing your school(Wikipedia entry) 13.Review 受講者には毎回課題（作文）を提出してもらいます。それをコピーして、受講者全員でチェックします。</p> <p>【テキスト】 Neil Cowie and Keiko Sakui 著 Get It Down－ You can write in English センゲージ ラーニング（2009）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 英語を話して、書く練習です。大いに間違ってください。毎回、予習が必要です。</p> <p>【評価方法】 提出課題、出席（授業回数の2／3以上 欠席1回6点減点、受講受理期間も出欠を取る）、授業での積極性</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
20020	20023	基礎英語表現Ⅱ	2	松井 真人	後期																
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、身近な事柄について平易な英語で話し、書くことができるということである。</p> <p>【授業内容・方法】 毎回、受講者全員が身近な事柄について英語で 30 秒～1 分程度のスピーチをする。その後、テキストに沿って和文英訳の練習をする。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①オリエンテーション</td> <td>②助けを求める／名詞</td> <td>③紹介／現在完了形</td> </tr> <tr> <td>④誘い／受身形(1)</td> <td>⑤ほめる／付加疑問文</td> <td>⑥驚き／関係代名詞</td> </tr> <tr> <td>⑦同意する・同意しない／代名詞</td> <td>⑧相づち／複文</td> <td>⑨確認／受身形(2)</td> </tr> <tr> <td>⑩会話を始める／to 不定詞</td> <td>⑪希望や願い／接続詞</td> <td>⑫心配して尋ねる／命令文</td> </tr> <tr> <td>⑬推量・推測／感嘆文</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑭⑮各自が選んだテーマについて英語で 5 分程度のスピーチをする。発表者は発表した内容をエッセイにまとめて後日提出し、担当教員の添削指導を受ける。</p> <p>【テキスト】 David E. Bramley・河合忠仁（著）<i>Let's Learn Basic English for Communication</i> 松柏社 1,700 円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 授業でスピーチをする時には、難しい英語を使う必要はない。易しい英語でよいので、語法や文法に気をつけて、しっかり準備して話してほしい。受講生が提出した英文エッセイはできるだけ丁寧に添削したい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のノルマ 50%）、最終スピーチの内容（20%）、英文エッセイの内容（30%）</p>							①オリエンテーション	②助けを求める／名詞	③紹介／現在完了形	④誘い／受身形(1)	⑤ほめる／付加疑問文	⑥驚き／関係代名詞	⑦同意する・同意しない／代名詞	⑧相づち／複文	⑨確認／受身形(2)	⑩会話を始める／to 不定詞	⑪希望や願い／接続詞	⑫心配して尋ねる／命令文	⑬推量・推測／感嘆文		
①オリエンテーション	②助けを求める／名詞	③紹介／現在完了形																			
④誘い／受身形(1)	⑤ほめる／付加疑問文	⑥驚き／関係代名詞																			
⑦同意する・同意しない／代名詞	⑧相づち／複文	⑨確認／受身形(2)																			
⑩会話を始める／to 不定詞	⑪希望や願い／接続詞	⑫心配して尋ねる／命令文																			
⑬推量・推測／感嘆文																					

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20020	20024	基礎英語表現Ⅱ	2	渡邊真由美	後期	
<p>【達成目標】 200 単語程度で構成された英文を聞き取り、理解できるようにする。さらにその英文のなかに出てくる語彙・英文法を理解し、スピーチと簡単な英作文ができるようにする。</p> <p>【授業内容・方法】 授業中に 200 単語程度の英文の聞き取りを行います。英文の中に出てくる語彙・英文法を説明します。その上で、みなさんに聞き取った内容をまとめてもらい、出てきた文法、語彙を利用して話し、英作文をしてもらいます。</p> <p>【授業計画】 テキストにそって授業を行います（一回の授業で一課すすみます）。 英作文は宿題として、翌週に提出してもらいます。 授業全 15 回中、一度は全員にテーマを決めてプレゼンテーションを行ってもらいます。 聞き取りに使用した語彙や文法についての小テストを毎回行います。</p> <p>【テキスト】 末松信子・田島松二・Jim Knudsen 著 <i>Listen and Write</i> 『リスニングからライティングへ』南雲堂。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 辞書を引きましょう。多くの英文に触れて、英語に対する怖れをなくしてください。</p> <p>【評価方法】 プレゼンテーション 30% 小テスト 30% 提出する英作文 40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20030	20031 ~33	発展英語表現Ⅰ	2	Mony Tavakoli	前期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is for students to learn words and expressions to convey their feelings and ideas clearly and effectively in English.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 Using printed articles, the teacher will teach students expressions for discussing various topics. Students will then be divided into small groups to discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. The teacher will prepare copies of material for some classes. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 This class will be challenging and fun.</p> <p>【評価方法】 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20040	20041 ~42	発展英語表現Ⅱ	2	Mony Tavakoli	後期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is for students to learn how to relate stories about their life and their experiences clearly in English.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 Students will write a daily journal in English. Common mistakes from journals will be corrected each week. Students will be asked to prepare a story to present each week. There will also be dictation practice.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will need 2 notebooks, for notes and English journal. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 This class is very challenging, but very effective for improving English ability.</p> <p>【評価方法】 25% Class Attendance and Participation. 25% Final Interview Exam. 50% English Journal.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20110	20111 ~13	英会話 I	2	Mony Tavakoli	前期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English. Only English will be used when teaching this class.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.</p> <p>【評価方法】 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20120	20121 ~23	英会話 II	2	Mony Tavakoli	後期	
<p>【達成目標】 The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English. Only English will be used when teaching this class. The contents of this class are different from English Conversation I .</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.</p> <p>【評価方法】 50% of the grade will be based on attendance and class participation. 50% will be based on a final interview exam.</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20210		リーディングⅠ	2	渡邊真由美	前期	

【達成目標】

英語で書かれた論理的な文章を読むことができるようになる。
 パラグラフごとになにが書かれているのかを要約できるようになる。
 アメリカ社会についての理解を深める。

【授業内容・方法】

アメリカ社会史について、日本の大学生向けに書かれたテキストを読んでいきます。一回におおよそ3~4 ページ読み進めていきます。予習段階として指定した箇所の単語を調べ、訳をつけてきてもらいます。授業中に指名し、訳の検討を行います。パラグラフごとにどのようなことが書かれているのかをまとめてもらいます。

【授業計画】

第1回：授業の進めかた、評価方法についての説明など
 第2~5回：“Introduction” 第6~8回：Chap 4 “The Impact of Technology”
 第9~11回：Chap 5 “Urbanization” 第12~15回：Chap 7 “World War II and After”

【テキスト】

Robert H. Walker, Makoto Saito, Hiroshi Yamamoto, *American Society* (Nan'un-Do, 2007)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

アメリカがどのような歴史をもち、どのように発展してきたのかを知ることは、文学にかぎらず、アメリカで書かれたものを理解するうえで重要なことだと思います。論理的な文章の読み方を学びながら、アメリカ社会にも広く関心をもってください。

【評価方法】

11回以上出席すること。
 予習状況 30%
 試験 70%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20220		リーディングⅡ	2	太田 裕子	前期	

【達成目標】

英語で書かれた統語論に関する入門書（注釈付きのテキスト）を読み、統語論に関する基礎的な知識を身につけます。語彙力の養成、要約作成に取り組みます。

【授業内容・方法】

【授業計画】

編入学試験対策を視野に入れて、演習形式で授業を行います。Chapter6-8を読む予定です。和訳担当を決めて発表していただきます。訳すところの英文を読んでから、和訳をしてください。クラス全体に聞こえるようにゆっくりと大きな声で発表しましょう。発表者は和訳を紙に書いて用意してきましょう。各セクションを読んだ後、内容の要約を作成します。グループワークで要約を完成させます。完成した要約は提出していただきます。

【テキスト】

現代の英語学（理論と応用）南雲堂

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

予習として大まかな情報を読み取るだけなら、速読でいいのですが、読解に必要な語彙力養成のために単語の意味調べをするようにしましょう。和訳担当者以外の人にも内容に関する質問するかもしれません。

【評価方法】

授業で読んだところの内容理解、文法事項、語彙に関する筆記試験を行います。
 グループワークへの参加、要約の提出も評価の対象とします。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
20230		リーディングⅢ	2	金子 淳	後期																
<p>【達成目標】 1. 英米文学の基礎力を身につけることができるようになる。 2. 難易度の高い英文を読むことができるようになる。</p> <p>【授業内容・方法】 英米文学の代表的な作品を読みます。作家や作品の背景を説明した後、その作品の有名な部分を読み、映画で該当する場面を観て、英語と英米文学・文化への理解を深めます。英語の力をつけると同時に、名作を味わい、教養を身につけることがねらいです。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①はじめに</td> <td>②『エデンの東』1</td> <td>③『エデンの東』2</td> </tr> <tr> <td>④『エデンの東』3</td> <td>⑤『風とともに去りぬ』1</td> <td>⑥『風とともに去りぬ』2</td> </tr> <tr> <td>⑦『風とともに去りぬ』3</td> <td>⑧『ティファニーで朝食を』1</td> <td>⑨『ティファニーで朝食を』2</td> </tr> <tr> <td>⑩『ティファニーで朝食を』3</td> <td>⑪『ロミオとジュリエット』1</td> <td>⑫『ロミオとジュリエット』2</td> </tr> <tr> <td>⑬『高慢と偏見』1</td> <td>⑭『高慢と偏見』2</td> <td>⑮まとめ</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 使用しません。適宜、配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 英米文学の原文を読むので、少し難しく感じるかもしれませんが、なるべく理解しやすいものを選ぶつもりでいます。語学の勉強は、予習と復習が大事です。必ず講義の前は予習して臨み、講義の後は復習をしてください。</p> <p>【評価方法】 複数回の小テスト（40%）、レポート等（40%）、授業への参加度（20%）</p>							①はじめに	②『エデンの東』1	③『エデンの東』2	④『エデンの東』3	⑤『風とともに去りぬ』1	⑥『風とともに去りぬ』2	⑦『風とともに去りぬ』3	⑧『ティファニーで朝食を』1	⑨『ティファニーで朝食を』2	⑩『ティファニーで朝食を』3	⑪『ロミオとジュリエット』1	⑫『ロミオとジュリエット』2	⑬『高慢と偏見』1	⑭『高慢と偏見』2	⑮まとめ
①はじめに	②『エデンの東』1	③『エデンの東』2																			
④『エデンの東』3	⑤『風とともに去りぬ』1	⑥『風とともに去りぬ』2																			
⑦『風とともに去りぬ』3	⑧『ティファニーで朝食を』1	⑨『ティファニーで朝食を』2																			
⑩『ティファニーで朝食を』3	⑪『ロミオとジュリエット』1	⑫『ロミオとジュリエット』2																			
⑬『高慢と偏見』1	⑭『高慢と偏見』2	⑮まとめ																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20240		リーディングⅣ	2	松井 真人	後期	
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、辞書を片手に英文を精読する力を身につけることである。</p> <p>【授業内容・方法】 スヌーピーやチャーリー・ブラウンが登場する漫画『ピーナッツ』を題材としたテキストを用いる。毎回、2つの漫画を英語で読んだ後で、その漫画に関連する英文エッセイを精読する。受講生が英文を訳し、担当教員が解説をするというやり方で授業を進める。</p> <p>【授業計画】 ①オリエンテーション ②Lesson 1 ③Lesson 1 ④Lesson 2 ⑤Lesson 2 ⑥Lesson 3 ⑦Lesson 3 ⑧Lesson 4 ⑨Lesson 4 ⑩Lesson 5 ⑪Lesson 5 ⑫Lesson 6 ⑬Lesson 6 ⑭Lesson 7 ⑮Lesson 7</p> <p>【テキスト】 外山晴子（著）<i>Enjoy English with Charlie Brown and Friends</i> 南雲堂 2,100円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 必ず予習をしてから授業に参加すること。授業ではできるだけ丁寧に解説するが、分からない点があれば遠慮なく質問してほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のノルマ）（約25%）、学期末試験（約75%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
20310		ライティング I	2	米野 裕子	前期																
<p>【達成目標】 1. 先ず運指法を身につけ、英文メールの様々な文例を学びます。 2. 独力で英文メールが書けるように、演習をしていきます。</p> <p>【授業内容・方法】 テキストを中心に進めながら、付随するトピックのプリントを用意します。リスニング力をつけるため、テキストに添った CD を毎回聴いていきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1～2. PC 設定とキーの運指練習</td> <td>7. 様々なお礼</td> <td>12. 予約する</td> </tr> <tr> <td>3. 自己紹介と自分が住む町を紹介</td> <td>8. 苦情を述べる</td> <td>13. お見舞い・お悔み</td> </tr> <tr> <td>4. アドバイスを求める・提案する</td> <td>9. 謝罪する</td> <td>14. 応募する・問い合わせる</td> </tr> <tr> <td>5. 様々な依頼</td> <td>10. 励ます</td> <td>15. 英文履歴書作成とその カバーレター</td> </tr> <tr> <td>6. 招待する・誘いを断る</td> <td>11. 祝福する</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 “Write Me Back Soon!” Communicating through Email (金星堂) 2000 円 (税別) 授業の最後に、提出課題作成に入るため、和英辞書と USB をご持参ください。</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】 多様な英文メールが書けるようチャレンジしてみたい、と思う学生を歓迎します。毎授業後に送信された課題は、添削し返信致します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度 (60%)、毎授業後に提出された課題内容 (40%) で評価します。</p>							1～2. PC 設定とキーの運指練習	7. 様々なお礼	12. 予約する	3. 自己紹介と自分が住む町を紹介	8. 苦情を述べる	13. お見舞い・お悔み	4. アドバイスを求める・提案する	9. 謝罪する	14. 応募する・問い合わせる	5. 様々な依頼	10. 励ます	15. 英文履歴書作成とその カバーレター	6. 招待する・誘いを断る	11. 祝福する	
1～2. PC 設定とキーの運指練習	7. 様々なお礼	12. 予約する																			
3. 自己紹介と自分が住む町を紹介	8. 苦情を述べる	13. お見舞い・お悔み																			
4. アドバイスを求める・提案する	9. 謝罪する	14. 応募する・問い合わせる																			
5. 様々な依頼	10. 励ます	15. 英文履歴書作成とその カバーレター																			
6. 招待する・誘いを断る	11. 祝福する																				

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
20320		ライティング II	2	米野 裕子	後期																			
<p>【達成目標】 1. 外資系の会社で働く人が、現場で即使える実践的なビジネスメールを学んでいきます。 2. 英語を使う現場に役立つ、様々な場面のショートダイアログを毎授業で習得します。</p> <p>【授業内容・方法】 毎授業の始めに基礎的なビジネス用語「ドリル」のテストをし、その後、授業計画に基づいた学習に添って、実際に作文演習していきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 商品の問い合わせ・その返信</td> <td>7. 契約書の送付・返信</td> <td>13. クレーム・対応</td> </tr> <tr> <td>2. 見積り依頼・その返信</td> <td>8. 会議開催の通知・返信</td> <td>14. 社交の挨拶 (慶弔・退職・受賞等)</td> </tr> <tr> <td>3. 商品の注文・その返信</td> <td>9. 議事録の送付・返信</td> <td>15. 英文履歴書作成とその カバーレター</td> </tr> <tr> <td>4. 出荷・発送・受領</td> <td>10. 社内メモの作成・通知</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 代金の請求・その返信</td> <td>11. アポを取る・応答する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 提携の申し出・その返信</td> <td>12. 出張手配の依頼・返信</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 授業毎にプリントを配布します。授業後半に提出課題文を作成しますので、USB をご持参ください。</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】 将来、外資系の企業で働いてみたい、またはビジネス英語に関心がある、という学生に最適な授業です。毎授業後に送信された課題は、添削し返信致します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度 (60%)、毎授業後に提出された課題 (20%)、「ドリル」テストの点数 (20%)</p>							1. 商品の問い合わせ・その返信	7. 契約書の送付・返信	13. クレーム・対応	2. 見積り依頼・その返信	8. 会議開催の通知・返信	14. 社交の挨拶 (慶弔・退職・受賞等)	3. 商品の注文・その返信	9. 議事録の送付・返信	15. 英文履歴書作成とその カバーレター	4. 出荷・発送・受領	10. 社内メモの作成・通知		5. 代金の請求・その返信	11. アポを取る・応答する		6. 提携の申し出・その返信	12. 出張手配の依頼・返信	
1. 商品の問い合わせ・その返信	7. 契約書の送付・返信	13. クレーム・対応																						
2. 見積り依頼・その返信	8. 会議開催の通知・返信	14. 社交の挨拶 (慶弔・退職・受賞等)																						
3. 商品の注文・その返信	9. 議事録の送付・返信	15. 英文履歴書作成とその カバーレター																						
4. 出荷・発送・受領	10. 社内メモの作成・通知																							
5. 代金の請求・その返信	11. アポを取る・応答する																							
6. 提携の申し出・その返信	12. 出張手配の依頼・返信																							

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20410		リスニング I	2	北山 長貴	前期	
<p>【達成目標】 1. 英語リスニング能力の向上を図ること。 2. 英語を聞き取るために必要な英語の音声的特徴を理解すること。</p> <p>【授業内容・方法】 リスニング能力の向上を図るために必要な英語音声学の基本的知識を紹介します。テキストは英語音声の解説と練習問題という構成になっています。英語の音声についての解説は必ず予習しておいてください。そしてリスニングの練習問題は授業中に行い答え合わせをします。授業では個々の発音記号が読め、書けるようにすること、そして英語の音声体系、強勢、イントネーションを学びます。</p> <p>【授業計画】 1. Speech Organs and Speech Sounds 2. Lesson 2, 3:破裂音[p, b, t, d] 3. Lesson 3, 4:破裂音[k, g] 4. Lesson 5, 6:摩擦音[f, v, θ, ð] 5. Lesson 7, 8:摩擦音[s, z, ʃ, ʒ] 6. Lesson 9, 10:破擦音 7. Lesson 11, 12:鼻音 8. Lesson 13, 14:半母音 9. Lesson 15, 16:母音 10. Lesson 17, 18:長母音 11. Lesson 19, 20:二重母音 12. Lesson 21:[ə] 13. Lesson 22:弱母音 14. Lesson 23:強勢 15. Lesson 24:イントネーション</p> <p>【テキスト】 『アメリカ英語の発音教本 三訂版』（研究社）2200 円＋税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 テキストに CD がついています。各自で予習復習をしてください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（30%）と筆記試験（70%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20420		リスニング II	2	横山 利夫	後期	
<p>【達成目標】 ビデオ教材については、内容を理解し、用意された質問に答えること。 ヒアリング教材については、冠詞、前置詞などの聞き漏らしを少なくすること。</p> <p>【授業内容・方法】 ①「Life in New York:使える英会話」というビデオ教材を用います。日本からニューヨークへ演劇の勉強のために留学した宮川香世さんが大都会で生活し、学び、友達と一緒に遊び、悩み、成長していく姿を描いたビデオです。ドラマとして楽しむと共に、リスニング力の向上をめざします。 ②5分間ヒアリング：日本人留学生の健と恵理がアメリカ人学生の Dan や Susie と一緒に、キャンパスで繰り広げる生活の諸相です。各状況で話題にのぼっている内容に関して、情報を正確に聴き取るのに必要な基本的表現を学習します。</p> <p>【授業計画】 ①について：毎回以下のエピソードをビデオで見て、質問事項が書いてあるプリントで、内容を理解しているかどうか確認しながら授業を進める。 1. Welcome to New York! 2. So you want to be an actress! 3. Kayo's home in New York 4. Getting to know the neighborhood 5. Kayo visits her new school 6. I can hardly wait! 7. A part-time job 8. Bargaining at the Flea Market 9. First day in Acting Class 10. A central park Sunday 11. What kind of job are you looking for? 12. It's my treat 13. Call 911! 14. I'm a little worried. など ②について：それぞれのユニットでは、時間、レイアウト、価格、指示、距離、比較、数量、場所、天候、仕事、電話、割合などの表現を学習します。</p> <p>【テキスト】 ビデオ教材：Life in New York 使える英会話 Steve Jones, Tsukasa Matsui 著 A Shorter Course in Listening 南雲堂</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 間違ったらどうしようとか考えずに、積極的なプラス思考でやろう。</p> <p>【評価方法】 期末試験と小テスト（60点）、出席状況（30点 2/3以上の出席、1回欠席5点減点）、授業への積極的な参加（10点）。受講受理期間も出欠を取る。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20450		TOEFL リスニング	2	阿部 隆夫	後期	

【達成目標】

TOEFL 聞き取りセクションの得点を上げる。北アメリカの英語とヨーロッパの英語との両方が聞こえるようになる。

【授業内容・方法】

コンピュータ端末受験 TOEFL 聞き取りセクションを紹介し、準備、訓練方法を学ぶ。また UK を基本とした英語の聞き取りになれることで、相対的に北アメリカ大陸の英語をも聞き取れるように練習する。同時に両方の発音の違いを学ばせる。

【授業計画】

毎回、前半は TOEFL の練習を通じて北アメリカ英語の聞き取りを扱い、後半は別の教材でヨーロッパ系英語の聞き取りを扱う。

① TOEFL 問題 Nos. 1-5 (以下、T 1 -5), Headway, Chap.1 (以下、H1) ②T 6-10, H1, ③T 11-20, H2, ④T 21-30, H2, ⑤T 31-40, H3, ⑥T 41-50, H3, ⑦T 51-60, H4, ⑧T 61-65, H4, ⑨T 66-70, H5, ⑩T 71-75, H5, ⑪T 76-80, H6, ⑫T 81-90, H6, ⑬T 95-100, H7, ⑭H7-8, ⑮H8-9

【テキスト】

The Official Guide to the TOEFL Test 4th Edition (McGraw Hill, 2013), Emma and Gary Pathare, *Headway Academic Skills: Listening, speaking and Study Skills* (Oxford UP, 2011)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

北アメリカとヨーロッパの両方の大学に留学した実経験を基に発音や表現の大まかな地域差を説明する。また英語圏の TV 放送や映画が聞き取りやすくなるコツと訓練方法を紹介する。聞き取り能力が精神集中力に左右されると勘違いしている者に特に受講を勧める。

【評価方法】

試験 80%、音読復習 20%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20460		TOEIC リスニング	2	松井 真人	前期	

【達成目標】

この授業の達成目標は、TOEIC のリスニングセクションで 300 点以上のスコアが取れる英語リスニング力を身につけることである。

【授業内容・方法】

毎回、リスニングをする際に注意すべきポイントを担当教員が解説した後、受講生は TOEIC 形式の問題を解いていく。そして答え合わせをしながら、担当教員が問題の解説をする。現行の TOEIC の形式に対応するため、アメリカ英語ばかりでなく、カナダ、イギリス、オーストラリアの英語を聞き取る練習もする。また、使用テキスト以外の視聴覚教材を用いたリスニング練習もする予定である。

【授業計画】

①オリエンテーション ②Unit 1 Daily Life ③Unit 2 Restaurant ④Unit 3 Party ⑤Unit 4 Airport ⑥Unit 5 Hotel ⑦Unit 6 Traffic ⑧Unit 7 Tour & Event ⑨Unit 8 Shopping ⑩Unit 9 Service ⑪Unit 10 Health ⑫Unit 11 Finance & Banking ⑬Unit 12 Housing ⑭Unit 13 Media ⑮Unit 14 Business (時間に余裕があればさらに多くの Unit を学習する。)

【テキスト】

塚田幸光 (著) *STRIKE UP THE TOEIC® TEST LISTENING* 金星堂 1,500 円 (税別)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

授業ではできるだけ詳しく問題の解説をしていきたい。受講生の皆さんは、テキストの問題を収録した音声ファイル (無料でダウンロード可能)、ラジオ、テレビ、インターネット、市販教材などを利用して、授業以外の時間にもできるだけ多く英語を聞く努力をしてほしい。

【評価方法】

授業への参加度 (3 分の 2 以上の出席が単位取得のノルマ) (約 25%)、学期末試験 (約 75%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20510		英文法 I	2	松井 真人	前期	
<p>【達成目標】 この授業の達成目標は、高校までに学んだ英文法を復習し、本学英語英文学科で専門的な勉強する上で必要な英文法の知識を身につけることである。</p> <p>【授業内容・方法】 担当教員がテキストに沿って文法項目の解説をした後で、受講生は練習問題に取り組む。理解を深めるために視聴覚教材も用いる。</p> <p>【授業計画】 ①オリエンテーション ②品詞 ③時制・進行形 ④基本 5 文型 ⑤現在完了 ⑥過去完了・未来完了 ⑦法助動詞 ⑧仮定法 ⑨関係節 ⑩関係副詞 ⑪分詞構文 ⑫冠詞 ⑬不定詞 ⑭受け身形 ⑮使役形</p> <p>【テキスト】 藤田直也（著）『クラスで読む英文法』朝日出版社 1,800 円（税別）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 できるだけ丁寧に解説していくが、分からない点があれば遠慮なく質問してほしい。また、しっかり予習と復習をして、授業で学んだことを徹底的に暗記し、英文法の知識を増やしてほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（3 分の 2 以上の出席が単位取得のノルマ 約 25%）、学期末試験（約 75%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20520		英文法 II	2	阿部 隆夫	後期	
<p>【達成目標】 英語圏で文法を学習するように英語のままの文法用語で理解し文法の説明ができるようになること</p> <p>【授業内容・方法】 中級程度の文法項目を中心に取り上げ、それを英語圏で文法を学習するように英語のままの文法用語で理解し文法の説明ができるようになる程度まで練習する。その過程で英語文法の素養を育む。各自が文法を暗記するよりも、言語認識の観点から自分の言葉で文法の仕組みを説明できるレベルを目指す。また副教材では、日本語発想の文法・語彙の間違いを問題形式で習う。</p> <p>【授業計画】 主教材 1. Present & past, 2. Present perfect & perfect tenses, 3. Future, 4. Mixed tenses & questions, 5. Modal verbs A, 6. Modal verbs B, 7. Verb forms A, 8. Verb forms B, 9. Verb forms C, 10. Verb forms D, 11. Nouns & pronouns, 12. Building sentences A, 13. Adjectives & adverbs, 14. Building sentences B, 15. Review 副教材では毎回 1 ページずつ 15 ページまで進む。</p> <p>【テキスト】 Ken Patterson, <i>Oxford Living Grammar Upper-intermediate</i> (Oxford UP, 2012), 副教材 Takao Abe, <i>Common Mistakes of English</i> (非売品のため無料配布)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 設問と答え・解説が明快で TOEFL や TOEIC にも応用できる文法項目別構成の問題集を使うので、毎回 1, 2 単元分の予習が必要となる。</p> <p>【評価方法】 毎回の小テスト（20%）と期末試験（80%）で判定する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20610		時事英語	2	渡邊真由美	前期	外国語
<p>【達成目標】 英字新聞を(辞書がなくても)読めるようになる。 時事問題に興味をもつ。</p> <p>【授業内容・方法】 英字新聞を読みます。毎週、一つから二つの記事を配布します。翌週の授業中に、その内容を確認していきます。初めの数回は、予習として全員に単語を調べ訳をつけてもらいます。その後、毎回担当者を決め、記事のなかの分からない単語を調べてきてもらいます。それを全員に配布し、授業中に記事を読めるようになってもらいたいと思います。前回読んだ記事の単語・訳の小テストを毎回行います。</p> <p>【授業計画】 第1回：授業の進め方、評価方法の説明。 第2～15回：英字新聞の記事を読む。</p> <p>【テキスト】 英字新聞の記事を授業内に配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 英字新聞を読むためには、いくつかのコツが必要です。最初は読み進めることが難しいと思いますが、あきらめずに続けましょう。</p> <p>【評価方法】 11回以上の出席を求めます。 予習状況 30% 小テスト 50% レポート 20%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
20710		イギリス文学史	2	小林 亜希	後期	教養															
<p>【達成目標】 イギリス文学（詩、演劇、小説）の歴史を学ぶことで、歴史と文学のダイナミズムを捉え、英語圏の文化や思想を理解するための基本的な教養を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 イギリス文学の歴史を、時代毎に代表的な作家のテキスト（詩、演劇、小説）の一部を読みながら概観します。また、文学テキストだけでなく、映画や絵画などの文化表象を手がかりに、歴史と文学のダイナミズムを捉えてみたいと思います。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>① ガイダンス</td> <td>② 古英語・中英語の文学</td> <td>③ ルネサンスの詩</td> </tr> <tr> <td>④ シェイクスピア(1)</td> <td>⑤ シェイクスピア(2)</td> <td>⑥ 清教徒革命～王政復古期の文学</td> </tr> <tr> <td>⑦ 小説の誕生(1)</td> <td>⑧ 小説の誕生(2)</td> <td>⑨ ロマン主義</td> </tr> <tr> <td>⑩ ヴィクトリア朝の小説(1)</td> <td>⑪ ヴィクトリア朝の小説(2)</td> <td>⑫ 大戦間の詩</td> </tr> <tr> <td>⑬ 大戦間の小説</td> <td>⑭ 第二次大戦後の文学</td> <td>⑮ まとめ</td> </tr> </table> <p>※授業の進度は、受講生の関心に応じて変わることがあります。</p> <p>【テキスト】 参考資料を適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・毎回コメントシートに感想や質問を書いてもらい、次の授業で受講者の関心に応えることで、双方向的な授業を目指します。 ・毎回参考図書を紹介します。積極的に図書館を活用してください。</p> <p>【評価方法】 試験(100%) 授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>							① ガイダンス	② 古英語・中英語の文学	③ ルネサンスの詩	④ シェイクスピア(1)	⑤ シェイクスピア(2)	⑥ 清教徒革命～王政復古期の文学	⑦ 小説の誕生(1)	⑧ 小説の誕生(2)	⑨ ロマン主義	⑩ ヴィクトリア朝の小説(1)	⑪ ヴィクトリア朝の小説(2)	⑫ 大戦間の詩	⑬ 大戦間の小説	⑭ 第二次大戦後の文学	⑮ まとめ
① ガイダンス	② 古英語・中英語の文学	③ ルネサンスの詩																			
④ シェイクスピア(1)	⑤ シェイクスピア(2)	⑥ 清教徒革命～王政復古期の文学																			
⑦ 小説の誕生(1)	⑧ 小説の誕生(2)	⑨ ロマン主義																			
⑩ ヴィクトリア朝の小説(1)	⑪ ヴィクトリア朝の小説(2)	⑫ 大戦間の詩																			
⑬ 大戦間の小説	⑭ 第二次大戦後の文学	⑮ まとめ																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20720		アメリカ文学史	2	渡邊真由美	前期	教養
<p>【達成目標】 アメリカ文学について植民地時代から現代にいたるまでの流れを理解する。 アメリカの歴史・社会・思想についての理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 アメリカの文学作品を適宜取り上げながら、アメリカの社会や思想と文学とのかかわりを含め、文学史の流れを説明していきます。文学作品をもとにした映画・ドラマなども活用していきます。</p> <p>【授業計画】 第1回：授業の進め方・評価方法の説明 第2～3回：植民地・建国期の文学 第4～6回：ロマン主義 第7～9回：リアリズム 第10～12回：モダニズム 第13～15回：戦後文学</p> <p>【テキスト】 内容に応じて、資料を授業内で配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 文学を理解するためには、歴史・社会状況・思想を理解する必要があります。アメリカや文学史のおおまかな説明しかできないと思いますが、広くさまざまなことに興味をもって授業に参加してください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度 20% 試験 80%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20730		イギリス文学作品研究	2	小林 亜希	前期	教養
<p>【達成目標】 三つの文学ジャンル（詩、演劇、小説）を読むことを通して、文学テキストを多様なコンテキストから解釈する方法を学び、イギリスの思想、歴史、文化についての基本的な理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 詩、演劇、小説の中から、それぞれ代表的な作品を取り上げ、文学的修辞法や文化的コンテキストに留意しながら、テキストの一部を読み進めていきます。訳読と講義を織り交ぜながら進める予定です。扱う詩人は、Shakespeare、Wordsworth、Blake、Shelly、Keats、Yeats 等です。演劇は、William Shakespeare (1564-1616) の <i>Hamlet</i> を扱い、映画を見ながら分析します。小説は、Mary Wollstonecraft Godwin Shelley の(1797-1851) の <i>Frankenstein; or The Modern Prometheus</i> (1818) を扱います。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ② 英文学とは何か ③～⑥イギリス詩を読む ⑦～⑩『ハムレット』を読む ⑪～⑮『フランケンシュタイン』を読む</p> <p>【テキスト】 適宜資料を配付します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・受講者の疑問や関心に応えながら、授業を展開したいと思います。 ・扱うテキストは事前に配布しますので、予習して授業に臨んで下さい。</p> <p>【評価方法】 試験 (100%) 授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20740		アメリカ文学作品研究	2	渡邊真由美	後期	
<p>【達成目標】 アメリカの文学作品の精読を通して、文学作品を正確に読めるようになる。</p> <p>【授業内容・方法】 アメリカ文学の短編小説を精読します。毎回、読む箇所を指定します。予習として、その箇所の訳文を作ってきてもらい、授業内で訳の検討を行います。作品ごとに感想を書いてもらいます。</p> <p>【授業計画】 第1回：授業の進め方と評価方法について 第2～6回：O. Henry, “The Gift of the Magi” 第7～15回：Joyce Carol Oates, “Where Are You Going, Where Have You Been?”</p> <p>【テキスト】 授業中に配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 訳の検討は、自分の作品の解釈ともつながります。一つの単語もおろそかにせず、その単語が作品のなかでどのように機能しているのかを考えながら読んでいきましょう。</p> <p>【評価方法】 12回以上の出席を求めます。 予習状況 30% 感想 20% 試験 50%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20750		英米児童文学作品研究	2	井辻 朱美	集中 (9月)	教養
<p>【達成目標】 今や児童文学の話題作品の多くがファンタジーです。ファンタジーとは何か、神話から『ハリー・ポッター』にいたるこの文学の現代的意味あいとその可能性を考えます。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 ファンタジーに特有のモチーフやトピックを抽出し、作品をクロスオーバー的に見ていきます。項目としては「魔法ファンタジー」「人工生命（人形・ロボット・フィギュア）と身体論」「自然界のエレメント（地水火風）と無意識」「タイム・ファンタジー」「枠物語」「家屋の物語」「編集される空間——博物館ファンタジー」「サイコ・ファンタジー」「死後譚と輪廻転生」などを予定しています。</p> <p>その他、J・R・R・トールキン、C・S・ルイス、U・K・ル＝グウィンなどモダン・ファンタジーの代表的作家をとりあげ、そのモチベーションや方法論なども見る予定です。途中で映像化作品を1・2本見て、ファンタジーの構造について考えます。</p> <p>なお、とりあげる作品は海外のもの中心になりますが、邦訳本のあるものを用います。比較対照のために、荻原規子、宮部みゆき、梨木香歩、小野不由美、上橋菜穂子など日本作家の作品も随時織り込みたいと考えています。「パーシー・ジャクソンとオリュンポスの神々」「ホビット」「ハリー・ポッター」など、最近の和洋のファンタジー映画についてもふれられたらと思います。</p> <p>【テキスト】 プリント配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 自分の感性、ものの見方を大切にして作品と向き合ってください。</p> <p>【評価方法】 10月末提出のレポートによります。レポートに取りあげる作品は書物に限らず、アニメ、コミック、映画なども含めます。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20760		英米文学講読	2	小林 亜希	後期	外国語

【達成目標】

- 1、基本的な語彙と文法に留意しながら、英語を正確に読む基礎を身につける。
- 2、文化、歴史、修辞技法などに留意しながら、文学テクストを読む基礎を身につける。

【授業内容・方法】

James Joyce (1882-1941) の *Dubliners* (1914) に所収されている短編小説 'Araby' と Ernest Hemingway (1899-1961) の短編小説 'Killers' (1927) を精読します。一文ずつ訳読しながら読み進め、重要な英語表現や文化的背景を解説します。また、テクストを読み解くために「物語論」(Narratology) を援用し、主に〈声〉と〈焦点化〉という観点からテクストを分析する手法を学びます。

【授業計画】

- ① ガイダンス：英文読解の基礎
- ② 物語論入門：discourse (物語言説) / story (物語内容) について
- ③～⑧ 'Araby' を読む
- ⑨～⑭ 'Killers' を読む
- ⑮ まとめ

【テキスト】

プリントを配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

- ・辞書を丁寧に引いて予習してください。
- ・図書館とインターネットを積極的に活用してください。

【評価方法】

授業での発表（20%）レポート（80%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20810		英米文学基礎演習 I	2	小林 亜希	後期	

【達成目標】

1. 基本的な語彙力と文法力を身につけ、英文読解の基礎を習得する。
2. 様々なコンテクストに留意しながら、文学テクストを精読する方法を身につける。

【授業内容・方法】

20世紀イギリスの短編小説を精読し、分析します。扱う小説は、Kazuo Ishiguro, 'Family Supper' と Graham Greene, 'The Invisible Japanese Gentleman' です。語りの技法、文化的、社会的背景等に留意しながら、読み進めていきます。適宜、文学理論にも言及する予定です。

【授業計画】

- ① ガイダンス
- ②～⑩ Kazuo Ishiguro, 'Family Supper' を読む
- ⑪～⑮ Graham Greene, 'The Invisible Japanese Gentleman' を読む

【テキスト】

プリントを配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

- ・基本的な文法から丁寧に解説し、わかりやすい解説を心がけたいと思います。
- ・丁寧に予習し、問題点を考えて演習に臨んでください。

【評価方法】

授業での発表（20%）、レポート（80%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20820		英米文学基礎演習Ⅱ	2	渡邊真由美	後期	
<p>【達成目標】 英語で書かれた文学を単語の意味を理解したうえで、読むことができるようになること。 作品が書かれた時代背景や作家の背景を理解できるようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 Lafcadio Hearn, <i>Kwaidan: Ghost Stories and Strange Tales of Old Japan</i> のなかから3編ほど選んで読んでいきます。最初の授業時にみなさんの希望をうかがいます。毎回、読む箇所を指定します。予習として、単語を調べ、自分の訳を作ってきてもらいます。それらを授業中に発表してもらって検討をし、感想を聞いていきます。授業の最後に好きな作品を取り上げて、感想を発表してもらいます。</p> <p>【授業計画】 第1回：授業の進め方について 第2回～第13回：作品講読 第14・15回：発表</p> <p>【テキスト】 <i>Lafcadio Hearn, Kwaidan: Ghost Stories and Strange Tales of Old Japan</i> (Dover Books, 2006)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 英語を読むことは、異文化と接することです。明治期に日本にやってきたハーンが、どのように日本を見たのかを考えながら読んでください。そのために、ハーンの評伝なども積極的に読んでほしいと思います。</p> <p>【評価方法】 12回以上出席すること。 予習状況（30%） 発表（30%） レポート（40%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20910		英米文学演習Ⅰ	4	小林 亜希	通年	
<p>【達成目標】 ・文学テキストを多様なコンテキストから解釈する方法を身につける。 ・イギリスの思想、文化、歴史についての理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 ・クレオール的女性作家 Jean Rhys (1890-1979) の <i>Wide Sargasso Sea</i> (1966) を精読し、分析します。Charlotte Bronte (1816-1855) の <i>Jane Eyre</i> (1847) との〈間テキスト性〉に注目しながら、ポストコロニアル理論を援用し、主に、テキストの〈人種／階級／ジェンダー〉の問題について考察します。 ・毎回4～5ページを担当者が訳読・要約し、問題点を指摘した上で、解釈について議論します。</p> <p>【授業計画】 【前期】 ①授業ガイダンス ②ポストコロニアル文学とは何か ③基本概念の確認 ④『ジェーン・エア』について ⑤『ジェーン・エア』と『サルガッソーの広い海』の〈間テキスト性〉について ⑥～⑩ 『サルガッソーの広い海』を精読し、議論 【後期】 ①レポートの書き方について ②～⑭ 『サルガッソーの広い海』を精読し、議論 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 テキスト: Rhys, Jean. <i>Wide Sargasso Sea</i>. London: Penguin, 2000.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・受講者との双方向的な授業を展開できるよう心がけたいと思います。 ・予習する際には辞書を引くだけでなく、図書館やインターネットを積極的に活用してください。</p> <p>【評価方法】 レポート（50%）、授業中の発表（50%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
20920		英米文学演習Ⅱ	4	渡邊真由美	通年	

【達成目標】

英語の小説を時代背景や、作家の背景を理解したうえで、正しく読み、自分なりの解釈を持てるようにする。

【授業内容・方法】

英語の小説を読んでいます。一年をかけて Sarah Orne Jewett, *The Country of the Pointed Firs* を読みます。1章分を1回から2回の授業で読み進めていきます。担当者を決め、その章ごとのあらすじと感想をまとめてもらい、全員で意見を出し合って作品理解を深めていきます。最終的に、この作品を読み通して、自分がどのような感想をもったのか、それはなぜかを発表してもらいます。

【授業計画】

前期 第1回：授業の進め方・評価方法などの説明 第2～15回：作品講読。
後期 第1～27回：作品講読。 第28～30回：プレゼンテーション。

【テキスト】

Sarah Orne Jewett, *The Country of the Pointed Firs and Other Stories* (New York: The Modern Library, 2000)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

ジュエットが生活した19世紀末のニューイングランドの田舎町を描いた作品です。100年前の生活という想像できないかもしれませんが、一人一人の人物を丁寧に描いていて、自分にも当てはまることが多いことに気づくでしょう。一つの外国語作品を読み通すことは、みなさんにとって大きな自信となると思います。丁寧に辞書をひいてじっくり文学作品を味わってください。

【評価方法】

授業への参加度 30% (12回以上の出席を求めます)
発表 35%
レポート 35%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21010		英語学基礎演習Ⅰ	2	横山 利夫	後期	

【達成目標】

テキストにある多くの例文を通して正しい英語の語法を学ぶこと。

【授業内容・方法】

It's often raining here. I'll phone you when I will arrive. I came here for study English. The life is difficult.

これら4つの英文には誤りがあります。みなさんはそれぞれの誤りを指摘できますか。この基礎演習では「誤り発見」を通して正しい英語表現を学びます。

【授業計画】

1 授業についてのガイダンス及び「英文誤り発見クイズ」
2～15 「英文誤り発見クイズ」の正解をテキストの解説を読んで理解し、正しい英語表現を覚える。テキストの内容は受講者に分担して説明してもらい、受講者は例文などに訳を付けたプリントを準備し授業で説明する。

【テキスト】

Michael Swan 著 Practical English Usage, New Edition, オックスフォード大学出版局 2005年
このテキストは2年次の演習でも使用する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

英語を外国語として学ぶ私たちは単純な誤りでも気づかないことがよくあります。テキストにある多くの例文を通して正しい英語の語法を学びましょう。

【評価方法】

授業への参加度を特に重視（40点 出席2/3以上で、1回欠席5点減点）、プリントを準備して説明（40点）、授業での積極性（20点） 受講受理期間も出欠を取る。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21020		英語学基礎演習Ⅱ	2	松井 真人	後期	

【達成目標】

この授業の達成目標は、言語と社会、言語と文化の様々な関わりについて理解することである。

【授業内容・方法】

テキストを読みながら、言語（特に英語と日本語）と社会・文化との関わりについて考察する。学問分野としては、主に社会言語学や言語人類学を扱うことになる。毎回、当番の学生がテキストの内容の要約を発表し、担当教員が解説や補足説明を加える。最後に内容について全員で議論する。

【授業計画】

- ①オリエンテーション
- ②～⑥言語と社会（バイリンガルのコードスイッチング、言語の性差、言語と差別など）
- ⑦～⑩言語と文化（サピア・ウォーフの仮説、呼称、英語のタブー表現など）
- ⑪～⑮英語の現状と英語教育（英語帝国主義論、危機言語、早期英語教育など）

【テキスト】

唐須教光（著）『英語と文化—英語学エッセイ—』慶應義塾大学出版会 2,592円（税込）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

英語や日本語の具体例を数多く挙げながら、言語と社会、言語と文化の関わりについて深く考えていきたい。できるだけ発言しやすい雰囲気を作りたいと思う。受講生の皆さんは授業の前にテキストをよく読み、わからない点は遠慮なく質問してほしい。

【評価方法】

授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のためのノルマ）30%、テキストの要約発表の充実度30%、学期末レポート40%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21030		英語学基礎演習Ⅲ	2	北山 長貴	後期	

【達成目標】

1. 英語の音声、語彙、統語（文の分析）についての基礎的内容を理解する。
2. 英文の内容を的確に読み、その内容を把握する力をつける。

【授業内容・方法】

英語という「ことば」について書かれたテキストを精読します。英語という言語を客観的に分析するのが英語学です。具体的には英語音声学（発音）と英語の形態論（単語）そして統語論（文）についての基本的な事項を勉強します。毎回、1人1行ごとの輪読をして、英語を正確に理解する訓練をします。

【授業計画】

- ① はじめに
- ②③ Why Language?
- ④⑤ How Did Speech Begin?
- ⑥⑦ Could We Get Along Without Speech?
- ⑧⑨ What is Language Made Up Of?
- ⑩⑪ How Language Grows
- ⑫⑬ Languages Come in Families
- ⑭⑮ The Language of Europe

【テキスト】

“All About Language” by Mario Pei.（成美堂）1,200円

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

テキストの予習が前提の授業です。必ず教室に辞書を持ってきてください（電子辞書も可）。

【評価方法】

授業への参加度（50%）、期末レポート課題（50%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21040		英語学基礎演習Ⅳ	4	阿部 隆夫	後期	

【達成目標】

異文化間コミュニケーション論と社会言語学を駆使して英語圏の社会言語文化の理解を深める。和訳・英訳を超えて英語圏で友人ができるような真のコミュニケーターを養成する。

【授業内容・方法】

異文化間コミュニケーション論・社会言語学の洋書主教材で学ぶ時間、和書副教材で学ぶ時間、社会言語学ワークブックの時間、TOEIC（文法・読解）とTOEFLの練習時間を設ける。

【授業計画】

毎回の時間を上記内容で三等分し、均等にあてる。受講生と協議のもとで教材を選定した後、30回分の詳細な予定表を作成、配布する。例えば

回	教科書(25分)	副読本(25分)	英語圏社会言語学問題(20分)	TOEIC・TOEFL(30分)	個別研究発表、ほか
後期 1	(PFC 導入)		『納得の異文化間英語コミ』導入		
2	『PFC』1章問題	『喋るア』導入	事例2		
3	1章討論	1章前半問題		Part 1	

【テキスト】

タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社 2012 年）、『TOEIC テスト究極の模試 600 問』（アルク 2012 年）、そのほか数冊のリストの中から受講生全員で初回日に選定する（例えば『私たちの異文化理解』や *How Culture Affects Communication, Polite Fictions in Collision* など）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

留学希望者は実務的な個別準備指導をする。期末課題としては、各自が言語学や英語などに関連した研究書の書評[3-5 ページ]又は口頭発表のどちらかが課せられる。英語論文の添削指導も可能。

【評価方法】

普段の小発表（50%）とレポート（または口頭発表）（50%）で判定する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21110		英語学演習Ⅰ	4	横山 利夫	通年	

【達成目標】

英語の文法や語法において、これまでの学習の中で十分に理解できなかった項目を、各学生がテキストの説明や例文を熟読しよく理解すること。

【授業内容・方法】

英語学習において、たとえば、仮定法がよく理解できない、分詞構文が苦手という方が多いのではないのでしょうか。自分の苦手とする項目、または興味ある項目をテキストから自分で選び、例文をプリントして、授業の中で説明してもらいます。

【授業計画】

初回：授業についてのガイダンス。

2～5 回：担当者がテキストから選んだ項目を受講者に分担して、受講者は例文などに訳を付けたプリントを準備し授業で説明する。

6 回目以降：自分の苦手とする項目、または興味ある項目をテキストから自分で選び、自分の作成したプリントを用いて説明する。

【テキスト】

Michael Swan 著 Practical English Usage, New Edition, オックスフォード大学出版局 2005 年

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

上記のテキストは英語の個々の語法についての疑問を解決するのに役立つ本です。英文科の学生には是非持って欲しい本です。予習をして、質問を準備して授業に参加すること。

【評価方法】

授業への参加度を特に重視（出席 2/3 以上、1 回欠席 4 点減点）、プリント提出、授業での発表、授業での質問など。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21120		英語学演習Ⅱ	4	松井 真人	通年	

【達成目標】

この授業の達成目標は、認知言語学の理論的枠組みで、英語と日本語の意味および文法の様々な側面について理解することである。

【授業内容・方法】

認知言語学の基本的な考え方は、言語の仕組みには人の認知（心の働き）が反映しているというものである。この授業では、このような認知言語学的な視点から、英語と日本語の意味および文法の諸相を考察していく。授業は演習形式で行う。毎回、当番の学生がテキストの内容の要約を発表し、担当教員が解説や補足説明を加える。最後に内容について全員で議論する。

【授業計画】

- 前期 ①オリエンテーション ②空はなぜ青いのか？ ③「ものの見方」と意味 ④プロトタイプ
 ⑤抽象化とスキーマ ⑥イメージ・スキーマ ⑦意味のネットワーク ⑧メタファー
 ⑨メトニミー ⑩概念メタファー ⑪方向性のメタファー ⑫「色」とことば ⑬構文と意味
 ⑭ことばのダイナミズム ⑮ことば、文化、普遍性
 後期 ①メタファーについての復習 ②～⑭メタファーに関する英書講読 ⑮まとめ

【テキスト】

谷ロー美（著）『学びのエクササイズ 認知言語学』ひつじ書房 1,400円（税別）
 George Lakoff and Mark Johnson *Metaphors We Live By*. The University of Chicago Press.

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

できるだけ発言しやすい雰囲気を作りたいと思う。受講生の皆さんは授業の前にテキストをよく読み、わからない点は遠慮なく質問してほしい。

【評価方法】

授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のためのノルマ）30%、テキストの要約発表の充実度30%、学年末レポート40%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21130		英語学演習Ⅲ	4	北山 長貴	通年	

【達成目標】

1. 英語音声学、形態論、統語論について知識を深めること。
2. 複雑な英文の構造を把握しその内容を理解する力をつけること。

【授業内容・方法】

英語学基礎演習Ⅲの続きとなります。継続受講者でなくても理解できる内容です。英語という言語を客観的に分析するのが英語学です。具体的には英語音声学と形態論そして統語論についての理解を深めます。毎回、1人1行ごとの輪読をして、英語を正確に理解する訓練をします。

【授業計画】

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| ① はじめに | ⑧⑨ What is Language Made Up Of? |
| ②③ Why Language? | ⑩⑪ How Language Grows |
| ④⑤ How Did Speech Begin? | ⑫⑬ Languages Come in Families |
| ⑥⑦ Could We Get Along Without Speech? | ⑭⑮ The Language of Europe |

【テキスト】

“All About Language” by Mario Pei. (成美堂) 1,200円

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

テキストをよく読み、何がポイントかを把握して簡潔に説明する練習です。

【評価方法】

授業への参加度（30%）、レポート課題（70%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21140		英語学演習Ⅳ	4	阿部 隆夫	通年	

【達成目標】

異文化間コミュニケーション論と社会言語学を駆使して英語圏の社会言語文化の理解を深める。和訳・英訳を超えて英語圏で友人ができるような真のコミュニケーターを養成する。

【授業内容・方法】

異文化間コミュニケーション論・社会言語学の洋書主教材で学ぶ時間、和書副教材で学ぶ時間、社会言語学ワークブックの時間、TOEIC（文法・読解）とTOEFLの練習時間を設ける。

【授業計画】

毎回の時間を上記内容で三等分し、均等にあてる。受講生と協議のもとで教材を選定した後、30回分の詳細な予定表を作成、配布する。例えば

回	教科書 (25分)	副読本(25分)	英語圏社会言語学問題 (20分)	TOEIC・TOEFL (30分)	個別研究発表、ほか
前期1	PFC 導入 6章音読	『しゃべるアメリカ人』導入		Part 5	
2	『PFC』7章討論		No. 13		Mistakes p. 15 まで

【テキスト】

タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社 2012年）、『TOEIC 新公式問題集 Vol. 5』、Haru Yamada, Different Games, Different Rules (Oxford UP, 1997)

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

留学希望者は実務的な個別準備指導をする、また希望者には各自が希望した上記関連専門分野で小論文・研究などの個別指導をする。期末課題としては、各自が言語学や英語などに関連した研究題目を選んでレポート[3-5 ページ]又は口頭発表のどちらかが課せられる。英語論文の添削指導も可能。

【評価方法】

普段の小発表（50%）とレポート（または口頭発表 50%）で判定する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21210		英語学入門Ⅰ	2	松井 真人	前期	教養

【達成目標】

この授業の達成目標は、現代言語学の枠組みで、英語および言語一般の特徴（特に意味とコミュニケーションの側面）を理解することである。

【授業内容・方法】

講義形式で英語および人間の言語一般の特徴を論ずる。言語学の分野としては、主に意味論、認知言語学、語用論を扱う。

【授業計画】

- ①オリエンテーション ②③人間の言語と動物の「言語」の違い ④言語研究の分野と方法
 ⑤⑥ことばの意味とは何だとう ⑦サピア・ウォーフの仮説 ⑧⑨語の間の意味関係
 ⑩⑪意味の拡張 ⑫ことばの意味に見られる主観性
 ⑬ことばの意味とコンテキスト ⑭⑮ことばのやりとりにおけるルール

【テキスト】

長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学<改訂版>』研究社 2,700円（税込）

その他に資料を配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

受講生が英語学や言語学に関心が持てるように、多くの具体例を用いて分かりやすい解説を心がけた。分からない点は遠慮なく質問してほしい。後期開講の英語学入門ⅡとⅢを受講することによって英語学全般を学ぶことができるので、それらも受講することをお勧めする。

【評価方法】

授業への参加度（3分の2以上の出席が単位取得のノルマ 約25%）、学期末試験（約75%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21220		英語学入門Ⅱ	2	横山 利夫	後期	教養

【達成目標】

- ① 下記のテキスト①について：1500 年前までヨーロッパ辺境の一地方語にすぎなかった英語が世界各地に波及し、今日では地球人口の約 5 割以上が何らかの形で英語に関わりを持っているといわれている。その英語がどのような発達過程を経て現在の姿になったのかを理解する。
- ② 下記のテキスト②について：言葉の起源、英語の発音とスペリング、語彙の多様性、文の内部構造などを扱った章について理解を深める。

【授業内容・方法】

テキスト①については、プリントも使用しながら、内容理解に重点を置いた指導をする。なお、講義ではビデオ教材も利用する。テキスト②については特に文の内部構造について詳しく説明する。

【授業計画】

テキスト①については、受講生が順番にテキストの内容を要約し、担当者が解説する。

- 1.Introduction 2.Indo-European 3.Britain Before the Coming of the Anglo-Saxon
4.Old English 5.The Scandinavian Invasions 6.The Norman Conquest 7.Middle English
8.Early Modern English 9.Modern English 以上、12 回

テキスト②については担当者が説明する。3 回

【テキスト】

- ① Gary Buck 著 The History of the English Language in Simplified English (英潮社 1996 年)
② 長谷川瑞穂 編著 『はじめての英語学』(研究社 2006 年)

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

毎回、テキスト(やさしい英語で書かれている)をよく読んでから授業に臨んでください。イギリス史について少し理解しているほうがよい。質問の時間を設けるのでわからないところ質問してください。

【評価方法】

試験 2 回(70 点)、出席(20 点 2/3 以上の出席、1 回欠席 4 点減点)、受講受理期間も出欠を取る。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21230		英語学入門Ⅲ	2	北山 長貴	後期	教養

【達成目標】

1. 英語音声学について理解を深めること。
2. 英語の形態論、社会言語学、言語習得理論について基本的な概念を理解すること。

【授業内容・方法】

英語音声学、形態論、社会言語学、言語習得を概論します。英語音声学については基本的な母音・子音の体系を踏まえ音の変化を中心に概論します。必要に応じて日本語の例についても紹介します。学習内容を深めるためプリントを使い応用練習もします。形態論、社会言語学、言語習得理論については授業前に授業計画に記載してあるテキストの該当する章を必ず読んでおくこと。

【授業計画】

- ① はじめに ② 音のつながり：連結、脱落 ③ 音のつながり：脱落
④ イントネーション、弱形と強形 ⑤ 音のつながり：同化 ⑥ 句動詞、イントネーション
⑦ 話者の意図と強勢、合成語 ⑧ 名詞連続、強調語 ⑨ 強勢の移動・弱化・強化
⑩ 形態論：「単語ができる仕組み」(第 10 章) ⑪ 英語の語源
⑫ 社会言語学：「ことばと社会」(第 23 章) ⑬ ピジンとクリオール
⑭ 言語習得：「日本の英語教育と教授法」(第 25 章) ⑮ 第一言語習得

【テキスト】

長谷川瑞穂 編『はじめての英語学』(研究社) 2,625 円 (英語学入門Ⅰ～Ⅲ 共通テキスト)

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

英語学を今後も研究する学生は英語学入門ⅠとⅡを受講することが望ましい。
リスニングⅠのテキスト(『英語音声学への扉』)を引き続き使います。

【評価方法】

授業への参加度(50%)、期末筆記試験(50%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21240		英語学講読	2	北山 長貴	前期	
<p>【達成目標】 1. 英語学を研究するために必要な基本分野の概要を理解すること。 2. 多くの英文を一度に読み、英文の内容把握が的確にできるようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 英語学を今後も研究したい学生向けの授業です。 英語で書かれたテキストを精読して英語学の基本事項を学びます。1回の授業で1ユニットを輪読（一人一人順番に英語を読みその内容を説明してもらうことを）します。プリントを使い内容理解を深めるようにします。</p> <p>【授業計画】 (1) Introduction (2) Semantic properties (3) Ambiguity (4) Metaphor and Poem (5) Semantic Change (6) Stylistics (7) Speech and writing (8) Speech acts and pragmatics (9) Aspects of dialect (10) Language and sexism (11) New word formation (12) Child language acquisition (13) Animals' language capacity (14) General review (15) What is language?</p> <p>【テキスト】 “Language as Human Essence” by Victoria A. Fromkin 三修社（1300円）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 予習しての出席が前提の授業です。必ず教室に辞書を持ってきてください。（電子辞書も可、できれば紙の辞書）専門的な内容が含まれていますが、なるべく理解しやすい様に説明します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、レポート提出（30%）。毎回出席を取ります。遅刻は3回で1回の欠席とします。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21320		英米文化論	2	小林 亜希	前期	教養
<p>【達成目標】 1. 英米文化を学ぶ上で重要な概念についての理解を深める。 2. 様々な文化表象を手がかりに、イギリスとアメリカの文化を読み解く方法を学ぶ。</p> <p>【授業内容・方法】 前半(1回目～8回目)は、英米文化を読み解くためのキーワード（基本概念）を中心に考察し、後半(9回目～15回目)は、映画、絵画、音楽、建築等の具体的な表象を分析しながら、英語圏の「文化」の構造を読み解いていきます。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②英語 ③宗教 ④民主主義 ⑤国民国家 ⑥帝国主義 ⑦資本主義 ⑧人種／階級／ジェンダー ⑨絵画 ⑩建築 ⑪映画 ⑫音楽 ⑬文学 ⑭エネルギー問題 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 参考資料を適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ・受講生の関心を引くように、身近な事例を取り入れながら講義を進めていきたいと思います。 ・扱うキーワードを辞書やインターネットで調べてから授業に臨むと理解が深まります。</p> <p>【評価方法】 試験（100%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21330		西洋史	2	浅野 啓子	前期	

【達成目標】
1. ヨーロッパの過去を学ぶことで、現代国際社会の諸問題を歴史的に理解できるようになる。
2. ヨーロッパの社会と文化が、排除と共存の過程を経て形作られてきたことを理解する。

【授業内容・方法】
現代ヨーロッパの原型が形成された中世の時代（およそ5～15世紀）について、そのキリスト教的な社会の特徴、身分制と共同体に基礎を置く社会のあり方を史料や建造物・美術などから明らかにする。

【授業計画】

①多民族による多様な地域文化のヨーロッパ	②ヨーロッパ文化の基層とケルト人
③ローマ帝国のユダヤ人とキリスト教徒	④カール大帝とキリスト教国家の成立
⑤皇帝と教皇を中心とするキリスト教的世界の成立	⑥レーン制と荘園制
⑦農村と都市の共同体	⑧キリスト教文化
⑨異端運動・女性の信仰共同体・ユダヤ人迫害	⑩身分制議会の成立
⑪黒死病の流行と死の文化	⑫宗教改革運動
⑬ドイツ農民戦争	⑭ルネサンス
⑮まとめ	

【テキスト】
プリント配付

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】
授業内容を問うアンケートとビデオ鑑賞を取り入れて、異文化への理解が深まる授業を目指します。

【評価方法】
授業への参加度（40%）、期末の理解度確認調査（60%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21340		日本文化論	2	佐藤 健治	後期	教養

【達成目標】
1. 世界に誇れる日本の文化遺産について、事例をあげて説明することができる。
2. 日本文化の特徴について、日本の自然環境や歴史的な事実から、適切に説明することができる。

【授業内容・方法】
日本で世界遺産に登録された文化遺産などを素材として、日本特有の文化とは何か、自然環境や人々の歴史など、さまざまな角度から考えていく。

【授業計画】

- ① はじめに
- ②～③ 日本の世界文化遺産
- ④～⑤ 木の文化 ー 寺社建築とお城 ー
- ⑥～⑧ 金と銀の文化 ー 平泉・石見銀山 ー
- ⑨～⑩ 「日本的」景観と異文化 ー 厳島神社・グスク ー
- ⑪～⑭ 神と仏の文化 ー 吉野・熊野 ー
- ⑮ まとめ

【テキスト】
テキストは使用しない。参考文献等は、その都度紹介する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】
世界を知るためには、まず日本を知ろう。世界遺産のスライド写真などを見ながら、知っているようで知らないことも多い日本のことについて、考えていこう。

【評価方法】
レポート（50%）、授業中に適宜課すミニツペーパー（50%）で評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21360		異文化理解Ⅱ	2	Mony Tavakoli	前期	教養
<p>【達成目標】 The purpose of this class is to learn about the different cultures of the world, and for students to think about the role that culture plays in their life.</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 The class is divided into 4 sections that look at different aspects of culture: 1. Language 2. Food 3. Religion 4 Festivals and Celebrations. Students will write papers about that aspect of culture for different countries. Movies from different countries will be shown to help gain a broader cultural understanding.</p> <p>【テキスト】 There is no textbook for this class. Students will make use of the library and internet to do research for their papers.</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 Learning about different cultures is fascinating. I hopes students will enjoy this class.</p> <p>【評価方法】 50% class attendance and participation. 50% research papers</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
21370		異文化 コミュニケーション	2	阿部 隆夫	前期	教養
<p>【達成目標】 異文化間コミュニケーションができるようになる。国際化の中で必要な柔軟なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 異文化間コミュニケーションの基礎理論を解説し、古今東西の異文化間のコミュニケーション問題を考察する。異文化間コミュニケーションが得意になるように理論と実践の両面を扱う。</p> <p>【授業計画】 1-2. 異文化間コミュニケーション論の誕生と可能性の説明 3-11. 基本概念の説明と応用（文化とは、常識とは、時間とは、空間とは、学習の形態差とは、認識の形態差とは、コミュニケーションの形態とは） 12. ヨーロッパ人の航海活動に伴う異文化・異民族間問題 13. 北アメリカの毛皮交易をめぐるヨーロッパ系住民と先住民の交流 14. カナダでの対先住民政策の比較例として日本社会のアイヌ民族待遇を考える 15. カナダの非英語系・非フランス語系移民の受け入れと多文化主義政策に基づいて日本社会が直面する外国籍労働者・移住者受け入れと彼らとの共存の方法を考える また、並行して後半週 6 回では、副教材の 1 章から 11 章までを二章ごと扱う。</p> <p>【テキスト】 エドワード・T・ホール著「沈黙のことば」（南雲堂 1966 年） 『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション』（有斐閣）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 基礎理論を着実に理解させた後の期間後半になってから事例研究を行なう。各自で関心があるレポートの題目を平素から捜して用意することを期待する。</p> <p>【評価方法】 平常の発表課題（30%）と 5 ページ程度の研究レポート（70%）</p>						